

平成 23 年度
佐鳴湖に関するアンケート調査

【結果概要版】

平成 24 年 6 月

清流ルネッサンスⅡ佐鳴湖地域協議会

はじめに

学識者、市民代表者、静岡県及び浜松市の関係部局で組織する「清流ルネッサンスⅡ佐鳴湖地域協議会」では、佐鳴湖の水質を改善させるため、平成16年6月に「二級河川都田川水系新川（佐鳴湖）水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンスⅡ）」を策定しました。

平成20年12月には計画の一部見直しを実施し、「発生源対策」を基本とした対策を関係機関と流域住民が一体となり推進してきました。

静岡県と浜松市は、この計画に基づき、下水道の整備、湖底や下流河川の泥の^{しゅんせつ}浚渫（掘り出すこと）、浄化施設の設置等を行っています。

また、市民の皆様と一体となって浄化対策を推進していくため、湖岸のゴミ拾い、ヨシ刈り、環境学習、イベントなどの様々な活動への支援を行い、市民活動の活発化と市民が主体となった浄化活動の発展や、佐鳴湖の豊かな自然環境、美しさ等についてPRを進めてきました。

その他、浜松市の中心市街地からも近接している貴重な公園（都市のオアシス）として、公園や遊歩道の整備など佐鳴湖周辺の環境整備も併せて行い、市民に親しみやすい佐鳴湖を目指しています。

その結果、水の汚れを表す指標であるCOD値（数値が大きいほど汚れている）は、行動計画の目標値である8mg/l程度まで改善され、平成13年から平成18年までの6年連続全国湖沼水質ワースト1であった状況から、平成21年には全国湖沼水質調査ランキングのワースト5から外れるまでに改善されてきました。

そこで、水環境の改善だけでなく、利用も含めた今後の佐鳴湖のあるべき姿、活動の方向性を検討するとともに、今まで行ってきた対策について評価するため、市民の皆様を対象にアンケート調査を実施いたしました。

なお、平成14年度、平成19年度にも同様のアンケート調査を実施しており、過去の結果と比較するため、合併前の旧浜松市域を対象に3,000人を無作為抽出しアンケートを郵送しています。

アンケート調査の概要

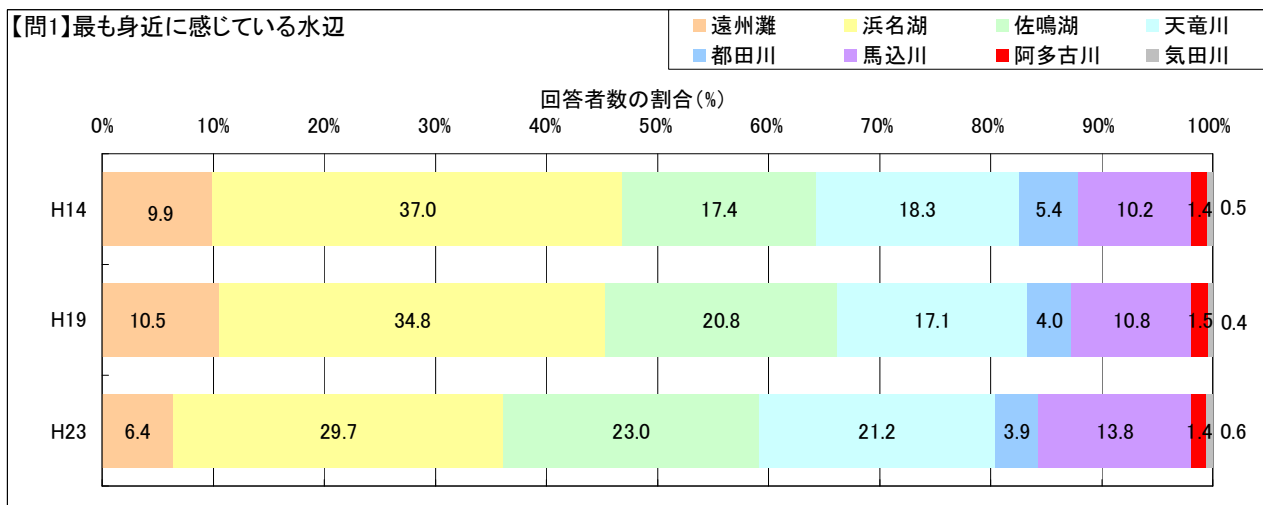
	平成 14 年度	平成 19 年度	平成 23 年度
調査時期	平成 14 年 8～9 月	平成 20 年 1～2 月	平成 24 年 1 月
対象者	浜松市民 3,000 人（旧浜松市）		
対象者の抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出		
調査方法	郵送による配布・回収		
回答者（回答率）	1,340 人（44.7%）	1,152 人（38.4%）	1,097 人（36.6%）

アンケート調査の内容

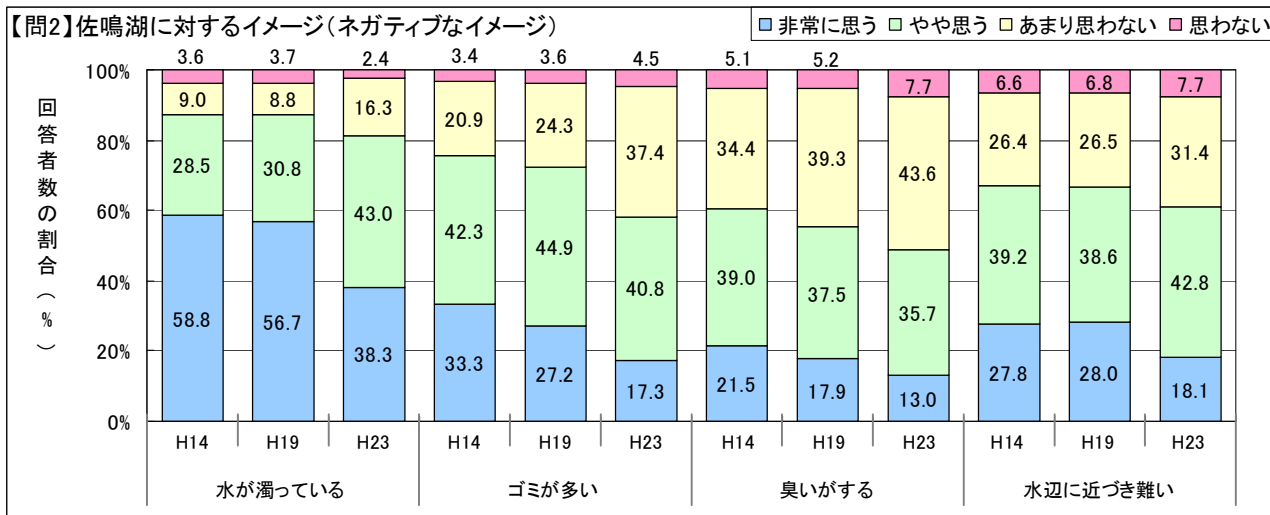
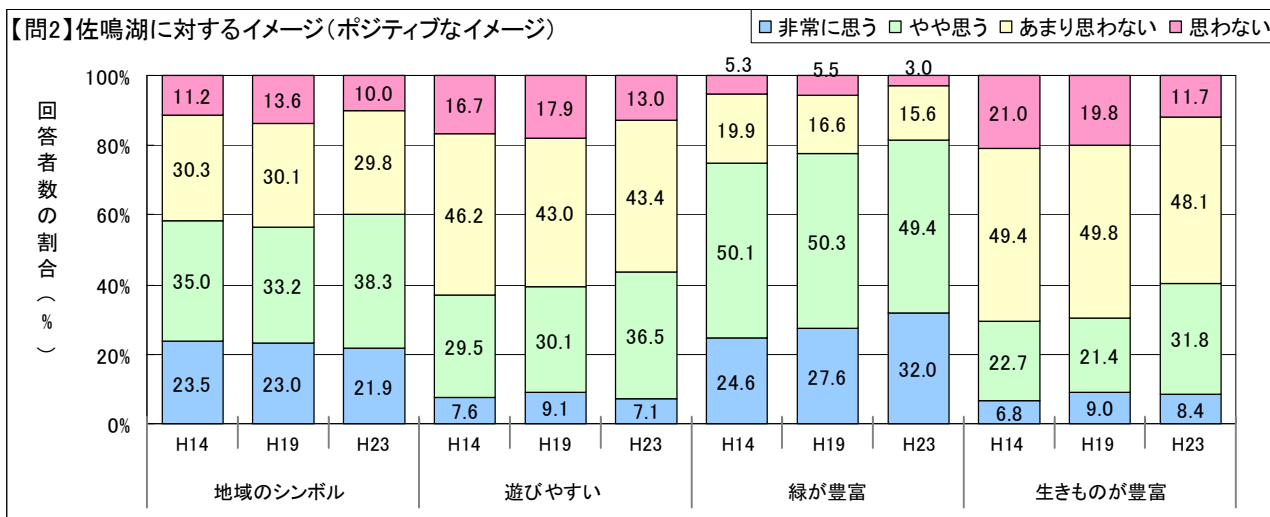
区分	設問
佐鳴湖に対する関心度について	問 1：あなたが浜松市周辺で最も身近に感じている水辺はどこですか。
	問 2：あなたは佐鳴湖に対してどのように感じていますか。
	問 3：あなたは佐鳴湖の水の状態に対して関心がありますか。
佐鳴湖の水質について	問 4：あなたは現在の佐鳴湖の水が好ましい状態にあると思いますか。
	問 5：佐鳴湖の水の状態がどの程度になればいいと思いますか。 （問 4 で好ましくない、またはあまり好ましくないと答えた方のみ回答）
佐鳴湖の利用について	問 6：あなたは主として佐鳴湖をどのように利用していますか。
	問 7：佐鳴湖をどの程度利用していますか。 （問 6 で佐鳴湖を利用していると答えた方のみ回答）
	問 8：あなたは現在の佐鳴湖の環境が好ましい状態にあると思いますか。
	問 9：あなたは佐鳴湖を今後どのように利用したいと思いますか。
	問 10：あなたは今後佐鳴湖がどのような姿になってほしいと思いますか。
水質浄化の取り組みについて	問 11：県や市では、これまで下水道の整備、湖底の泥の除去、湖岸帯の整備、浄化施設の建設等各種の取り組みを行ってきましたが、ご存じでしたか。
	問 12：県や市が行っている水質浄化に対する各種の取り組みについてどのようにして知りましたか。 （問 11 で知っていると答えた方のみ回答）
	問 13：あなたは、これまでの佐鳴湖の水質浄化に対する県や市の取り組みに対し、どう思いますか。
	問 14：あなたは、県や市に佐鳴湖に関してどのような取り組みを期待していますか。
回答者の属性について	問 15：あなたの住んでいる町名を下の枠の中に記入してください。
	問 16：あなたの住んでいる場所から佐鳴湖まで普通どのように行かれますか。
	問 17：問 16 の交通手段を使った場合どの位時間がかかりますか。
	問 18：あなたの住んでいる場所は佐鳴湖の流域ですか。
	問 19：あなたは、現在の住所に何年ぐらい住んでいますか。
	問 20：あなたの性別を教えてください。
	問 21：あなたの年代を教えてください。
問 22：あなたの職業を教えてください。	
その他	問 23：佐鳴湖の水の状態や環境についてご意見がありましたら、ご記入願います。

1. 単純集計結果

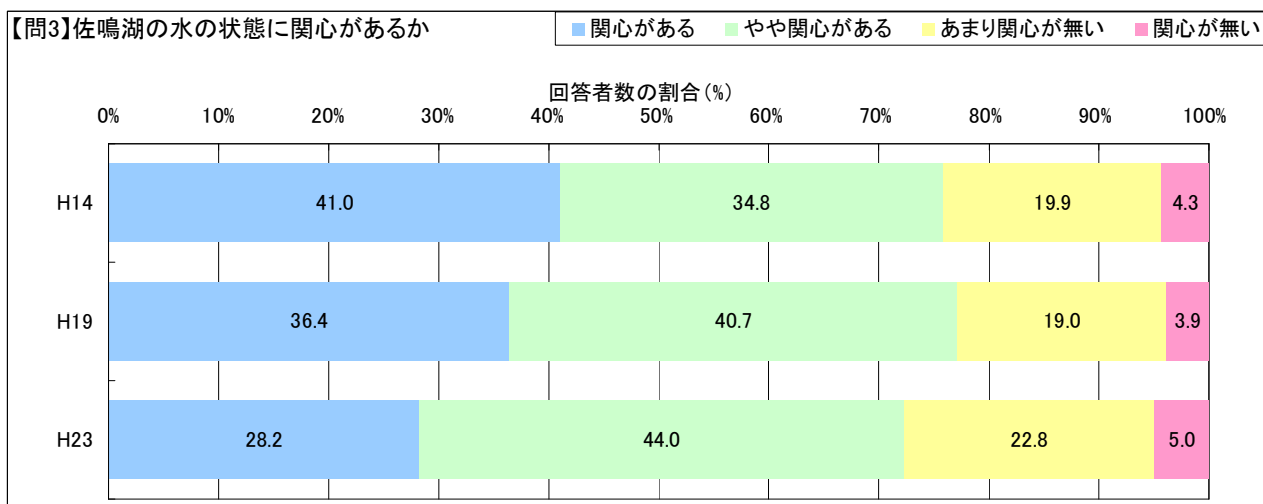
『問1：あなたが浜松市周辺で最も身近に感じている水辺はどこですか。』



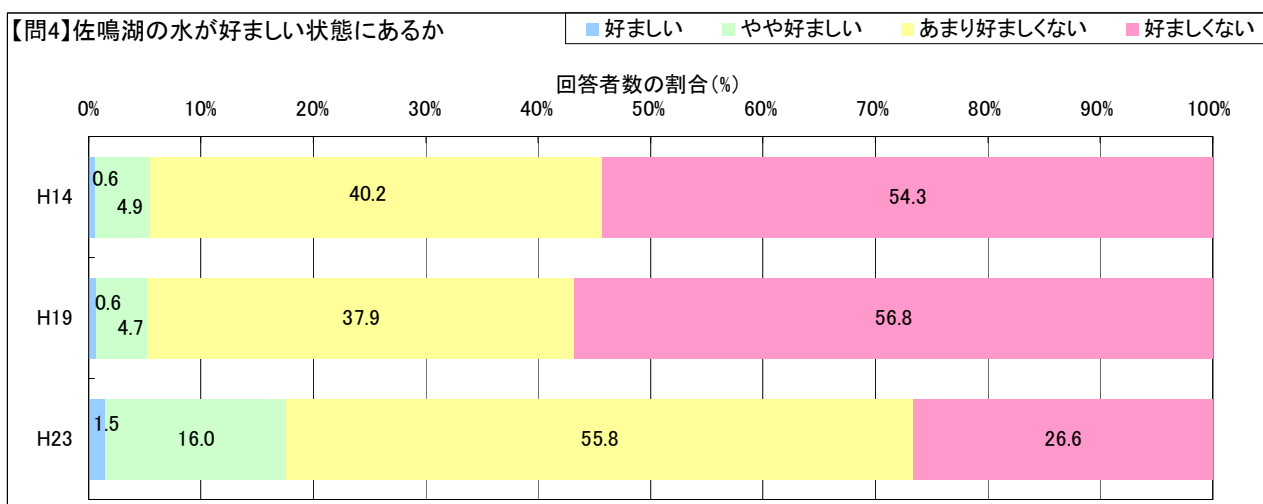
『問2：あなたは佐鳴湖に対してどのように感じていますか。』



『問3：あなたは佐鳴湖の水の状態に対して関心がありますか。』

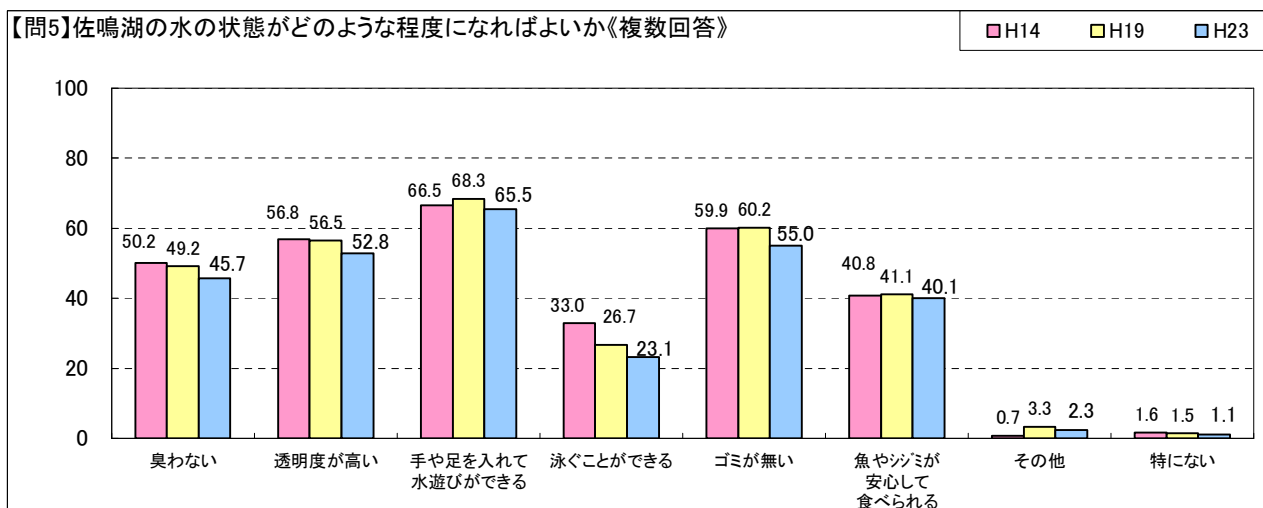


『問4：あなたは現在の佐鳴湖の水が好ましい状態にあると思いますか。』

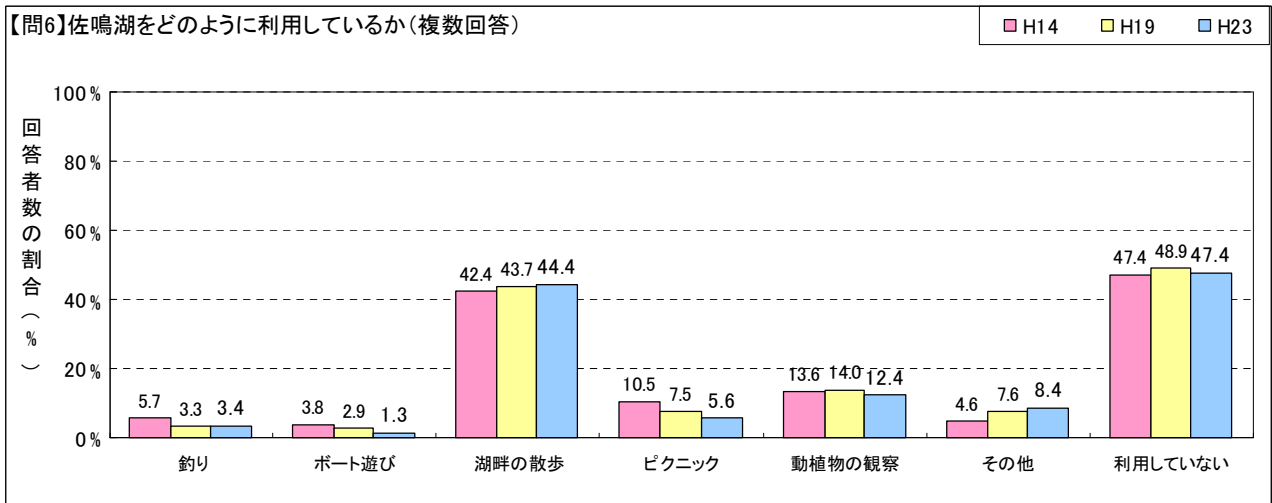


『問5：佐鳴湖の水の状態がどの程度になればいいと思いますか。』

(問4で好ましくない、またはあまり好ましくないと答えた方のみ回答)

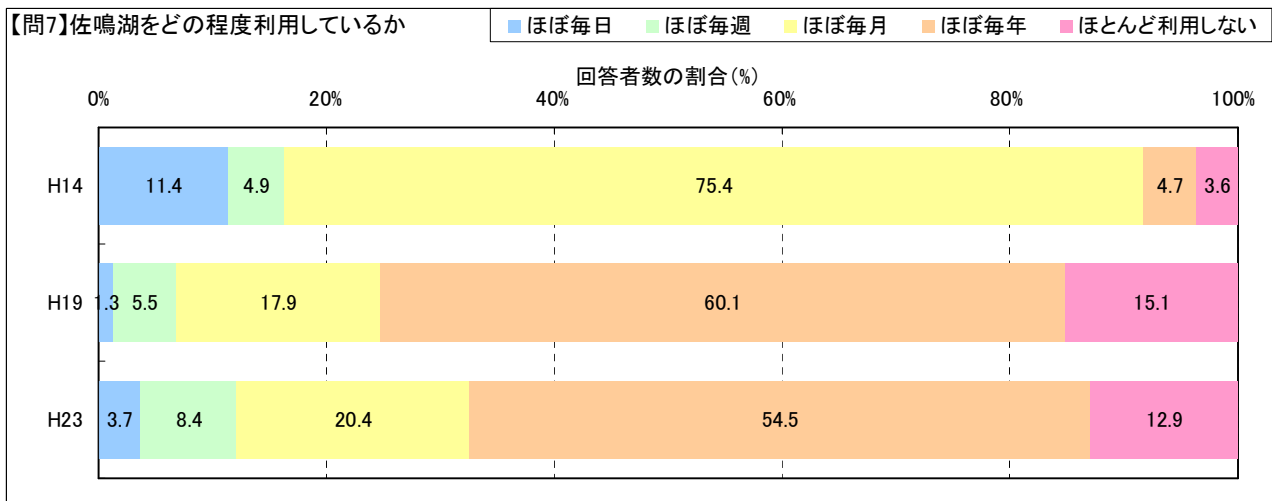


『問6：あなたは主として佐鳴湖をどのように利用していますか。』

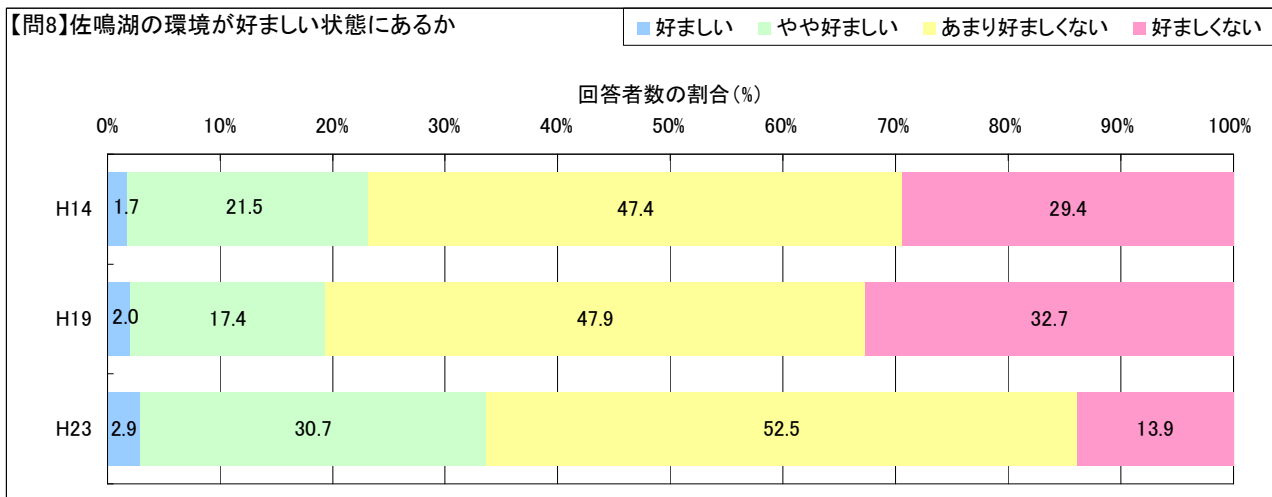


『問7：佐鳴湖をどの程度利用していますか。』

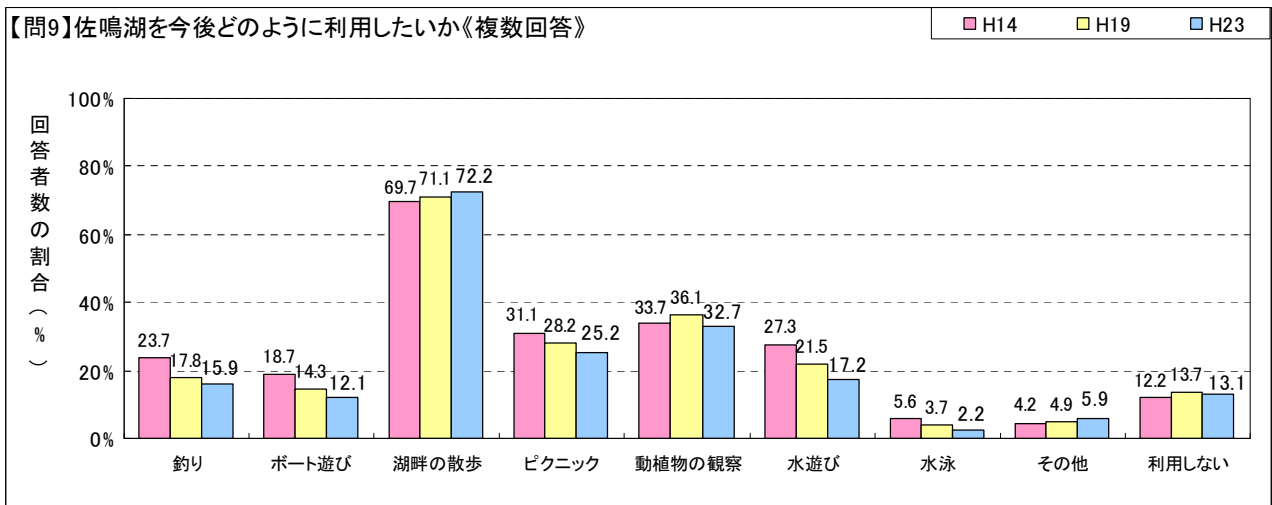
(問6で佐鳴湖を利用していると答えた方のみ回答)



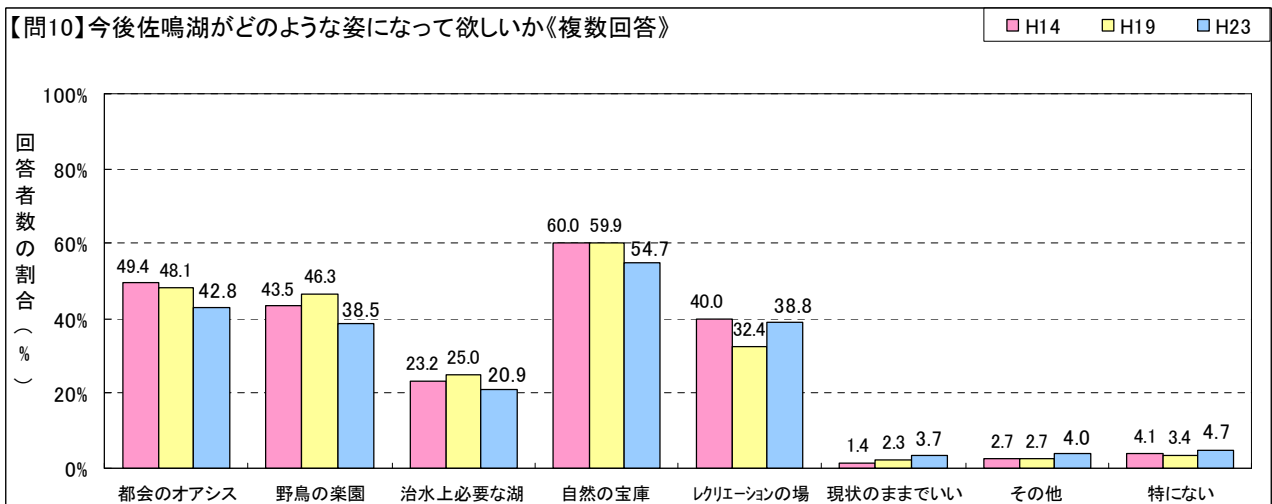
『問8：あなたは現在の佐鳴湖の環境が好ましい状態にあると思いますか。』



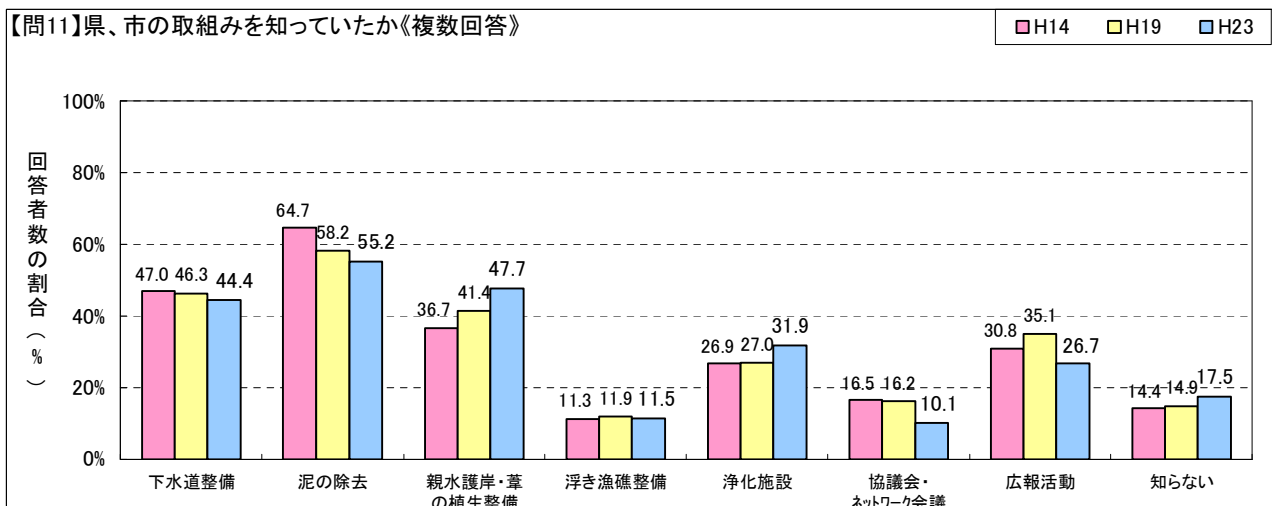
『問9：あなたは佐鳴湖を今後どのように利用したいと思いますか。』



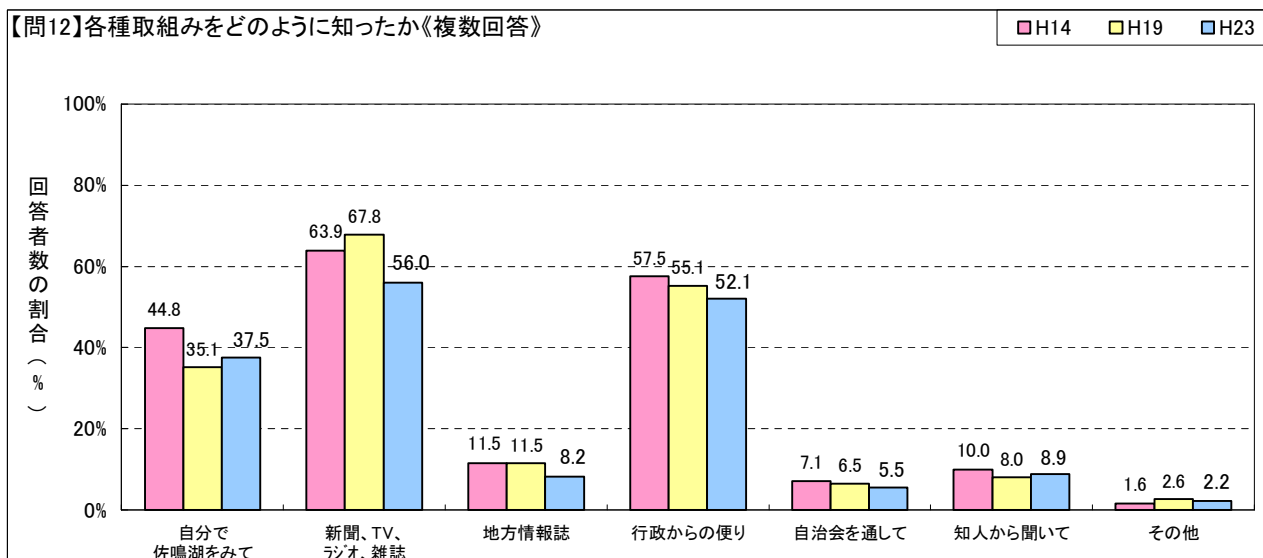
『問10：あなたは今後佐鳴湖がどのような姿になってほしいと思いますか。』



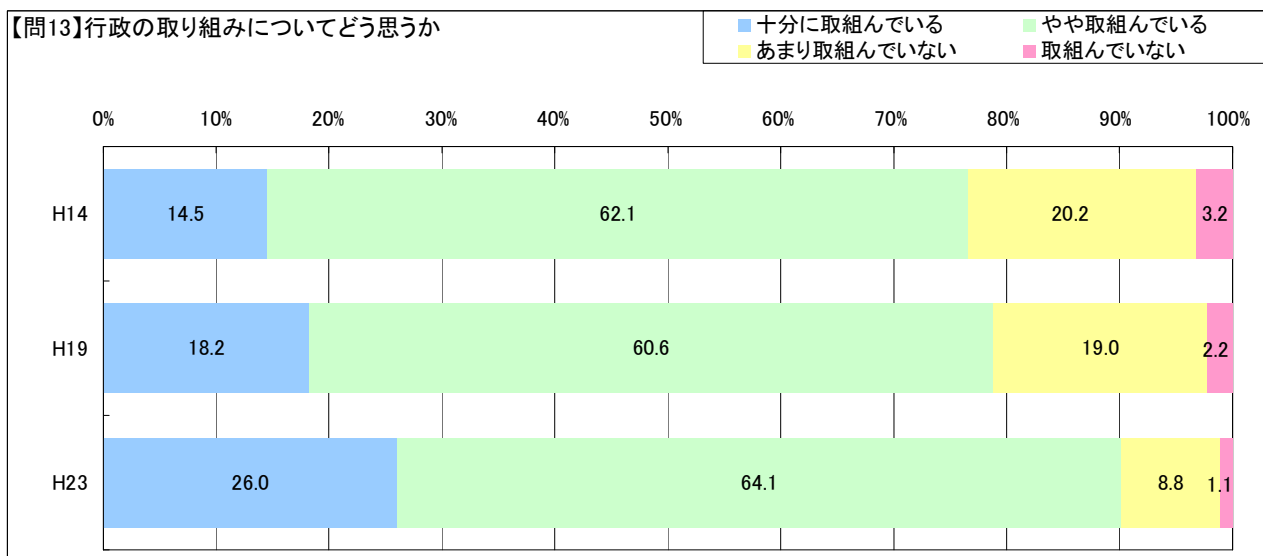
『問11：県や市では、これまで下水道の整備、湖底の泥の除去、湖岸帯の整備、浄化施設の建設等各種の取り組みを行ってきましたが、ご存じでしたか。』



『問 12: 県や市が行っている水質浄化に対する各種の取り組みについてどのようにして知りましたか。』
 (問 11 で知っている と答えた方のみ回答)



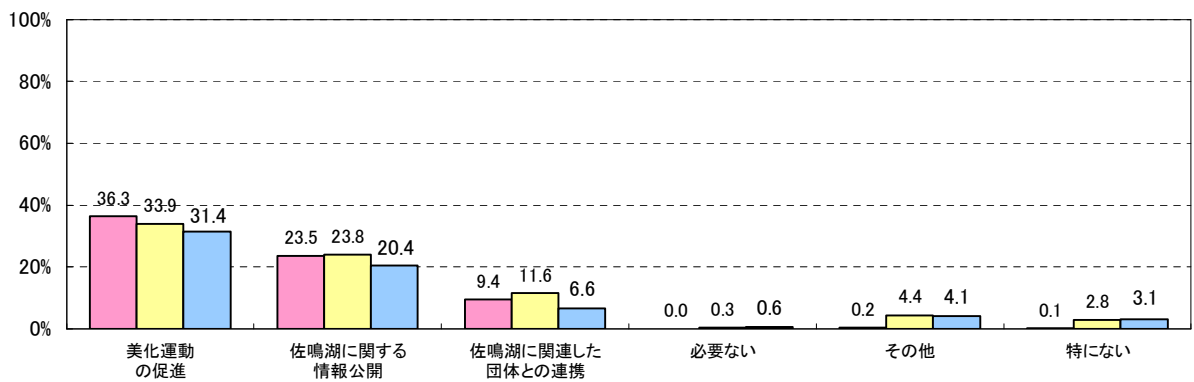
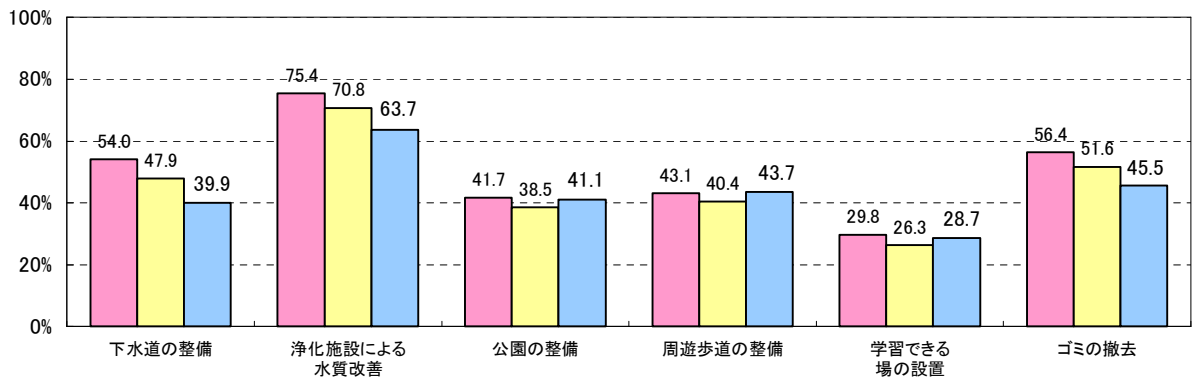
『問 13: あなたは、これまでの佐鳴湖の水質浄化に対する県や市の取り組みに対し、どう思いますか。』



『問14：あなたは、県や市に佐鳴湖に関してどのような取り組みを期待していますか。』

【問14】今後どのような取り組みを期待しているか《複数回答》

■ H14 ■ H19 ■ H23



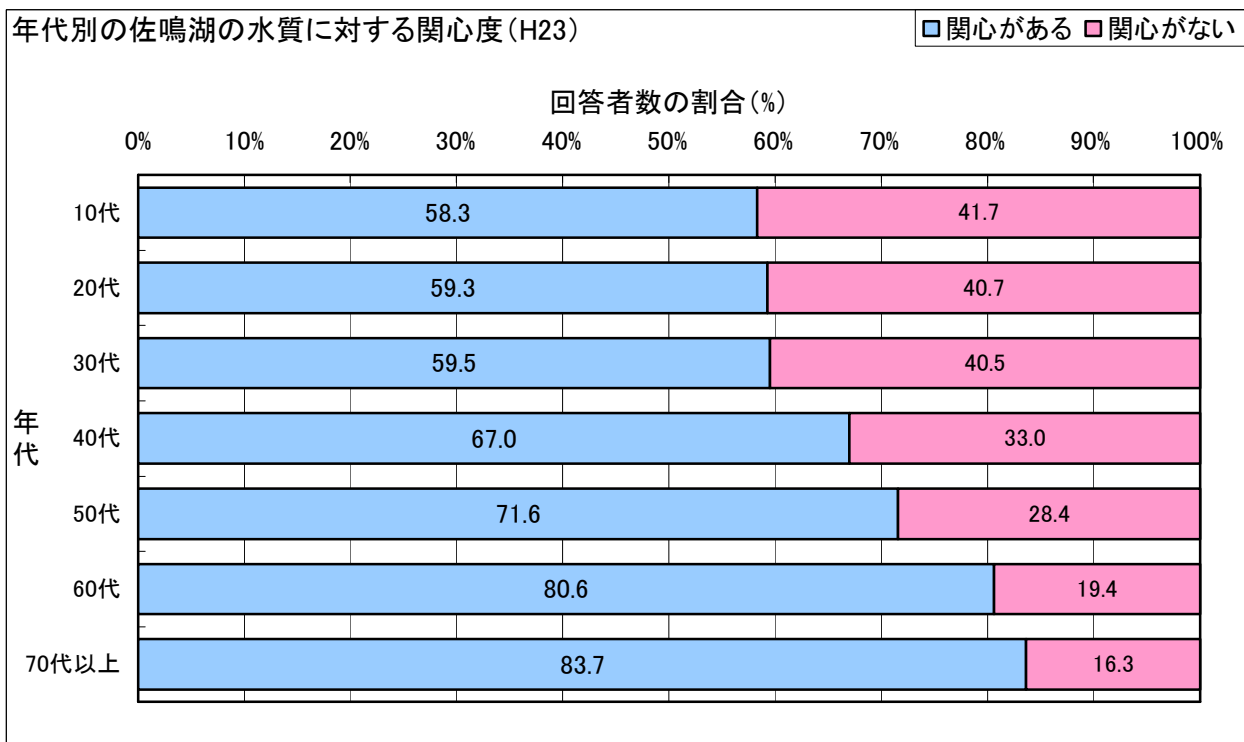
2. クロス集計結果

(1) 佐鳴湖の水質に対する関心度

『年代別の水質に関する関心度』を見ると、年代が上がるにつれて佐鳴湖への関心度が高くなる傾向にあることがわかります。とくに10代～30代では佐鳴湖への関心度が6割弱と、全体平均の72.2%と比較しても関心度が低いことがわかります。

今後も継続して佐鳴湖の環境を良くしていくためには、若年層の関心度を高めていくことが重要になります。

『年代別-佐鳴湖の水質への関心度』



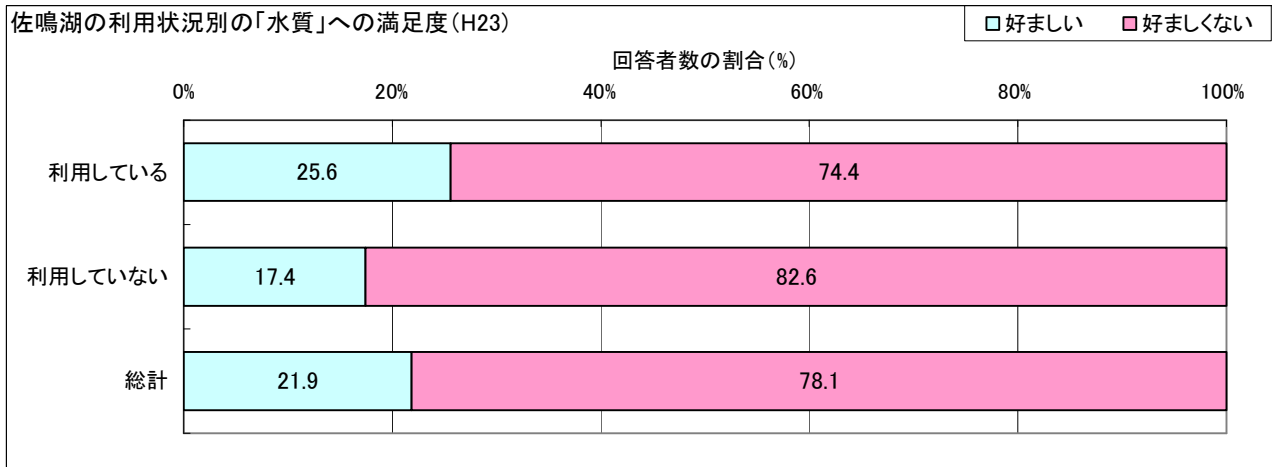
※関心がある…問3で「関心がある」または「やや関心がある」と答えた人
関心がない…問3で「関心がない」または「あまり関心がない」と答えた人

(2) 佐鳴湖の水質と環境への満足度

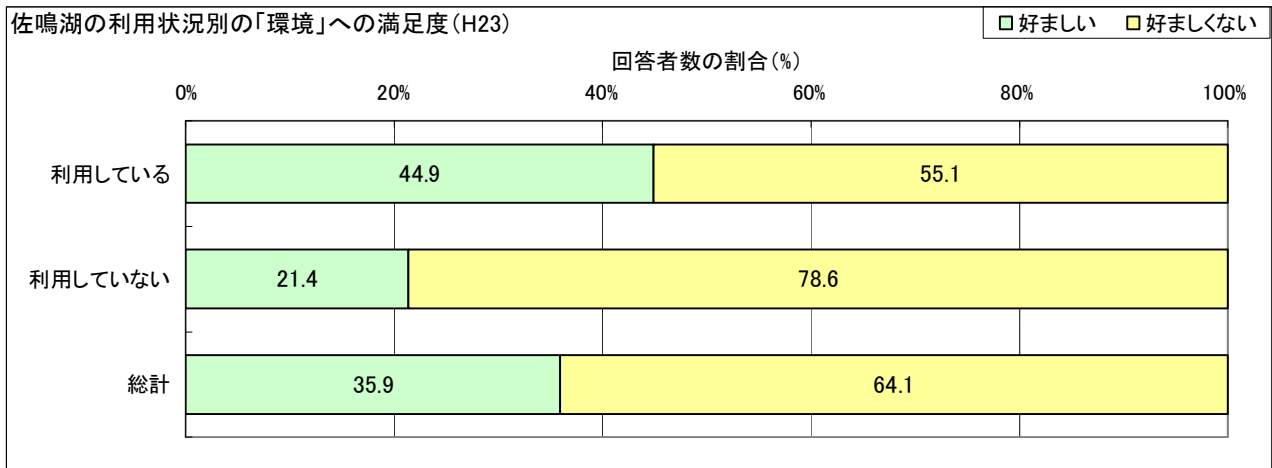
『佐鳴湖の利用状況別の水質への満足度』と『佐鳴湖の利用状況別の環境への満足度』を見ると、佐鳴湖を利用している人は佐鳴湖を利用していない人に比べて、水質や環境を好ましいと感じる傾向にあることがわかります。

また、水質と環境を比較すると、環境への満足度が高いことから、佐鳴湖以上に周辺の環境が高く評価されていることが伺えます。

『利用状況別-佐鳴湖の水質への満足度』



『利用状況別-佐鳴湖の環境への満足度』



3. 回答者の属性

【問16】佐鳴湖までの交通手段

項目	H14		H19		H23	
	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比
1.徒歩	98	7.5%	73	6.7%	81	7.7%
2.自転車	71	5.4%	49	4.5%	40	3.8%
3.バイク	32	2.4%	19	1.7%	12	1.1%
4.自動車	1035	78.9%	881	80.8%	867	82.6%
5.バス	61	4.6%	47	4.3%	36	3.4%
6.その他	15	1.1%	22	2.0%	14	1.3%
総計	1312	100.0%	1091	100.0%	1,050	100.0%

【問17】佐鳴湖までの所要時間

項目	H14		H19		H23	
	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比
1.10分未満	207	15.9%	158	14.3%	157	15.1%
2.10～20分未満	300	23.0%	275	24.9%	273	26.3%
3.20～30分未満	398	30.5%	320	29.0%	326	31.4%
4.1時間未満	321	24.6%	291	26.3%	230	22.1%
5.1時間以上	45	3.5%	27	2.4%	34	3.3%
6.わからない	33	2.5%	34	3.1%	19	1.8%
総計	1304	100.0%	1105	100.0%	1,039	100.0%

【問18】住んでいる場所は佐鳴湖の流域か

項目	H14		H19		H23	
	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比
1.上流域	229	17.6%	210	18.8%	181	17.3%
2.下流域	76	5.9%	61	5.5%	77	7.3%
3.流域でない	900	69.3%	759	68.0%	712	67.9%
4.わからない	94	7.2%	86	7.7%	78	7.4%
総計	1299	100.0%	1116	100.0%	1,048	100.0%

【問19】現在の住所に何年住んでいるか

項目	H14		H19		H23	
	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比
1.1年未満	53	4.0%	35	3.1%	35	3.3%
2.1年以上～3年未満	111	8.4%	80	7.1%	75	7.1%
3.3年以上～5年未満	91	6.9%	73	6.5%	57	5.4%
4.5年以上～10年未満	150	11.3%	116	10.3%	115	10.9%
5.10年以上～20年未満	220	16.6%	188	16.6%	197	18.7%
6.20年以上	697	52.7%	638	56.5%	574	54.5%
総計	1322	100.0%	1130	100.0%	1,053	100.0%

【問20】性別

項目	H14		H19		H23	
	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比
1.男性	619	47.0%	537	47.5%	494	46.9%
2.女性	697	53.0%	594	52.5%	560	53.1%
総計	1316	100.0%	1131	100.0%	1,054	100.0%

【問21】年齢

項目	H14		H19		H23	
	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比
1.10代	17	1.3%	15	1.3%	12	1.1%
2.20代	153	11.6%	88	7.8%	86	8.2%
3.30代	226	17.1%	185	16.4%	159	15.1%
4.40代	234	17.7%	179	15.9%	189	17.9%
5.50代	255	19.3%	212	18.8%	184	17.4%
6.60代	272	20.6%	248	22.0%	270	25.6%
7.70代以上	163	12.3%	201	17.8%	155	14.7%
総計	1320	100.0%	1128	100.0%	1,055	100.0%

【問22】職業

項目	H14		H19		H23	
	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比
1.会社員	414	31.5%	341	30.2%	325	30.9%
2.公務員	49	3.7%	36	3.2%	44	4.2%
3.自営業	138	10.5%	93	8.2%	78	7.4%
4.農林漁業	39	3.0%	23	2.0%	16	1.5%
5.主婦	340	25.9%	300	26.6%	320	30.4%
6.大学生・専門学校生	25	1.9%	9	0.8%	19	1.8%
7.高校生	0	0.0%	10	0.9%	9	0.9%
8.無職	242	18.4%	255	22.6%	183	17.4%
9.その他	67	5.1%	61	5.4%	57	5.4%
総計	1314	100.0%	1128	100.0%	1,051	100.0%

※注:問 15 は多岐に渡るため集計は行っていません。

4. まとめ

◆佐鳴湖に対する関心度について

- ・佐鳴湖を身近な水辺と感じている割合は回答者の 23.0%で、「浜名湖」に続く第 2 位です。また、過去の調査と比較すると、比率は増加する傾向にあります。（問 1）
- ・佐鳴湖に対してポジティブなイメージとして最も評価が高いのは『緑が豊富である』で、一方、ネガティブなイメージとして高いのは『水が濁っている』となっています。また、過去の調査でも同様の結果となっていますが、全体的にイメージは改善されてきています。（問 2）
- ・佐鳴湖の水質に対して関心がある（関心がある、またはやや関心がある）という回答は、回答者の 72.2%を占めています。しかし、関心度は減少傾向にあり、水質改善に伴い危機感が減少していることも影響していると考えられます。（問 3）

◆佐鳴湖の水質について

- ・佐鳴湖の水質に対する満足度は、『好ましい（好ましい、またはやや好ましい）』の割合が 17.5%と非常に低くなっています。しかし、満足度は前回調査から約 12 ポイント増加していることから、浄化の効果が現れているといえます。（問 4）
- ・佐鳴湖の望ましい水質として求めているのは、『手や足をを入れて水遊びができる』、『ゴミがない』、『透明度が高い』の順になっています。また、過去の調査でも同様の傾向となっています。（問 5）

◆佐鳴湖の利用について

- ・利用方法は、『湖畔の散歩』が 44.4%、『動植物の観察』が 12.4%と、主に湖畔の利用が多く、『釣り』や『ボート遊び』などの水上・水面に関連する利用は少数となっています。（問 6）
- ・利用頻度をみると、「ほぼ毎年（年に 1～2 回程度）」が回答者全体の 54.5%を占め、『ほぼ毎日』、『ほぼ毎週』などの頻度の高い利用は 12.1%となっています。また、平成 19 年度調査と比較して利用頻度は増加する傾向にあります。（問 7）
- ・佐鳴湖の環境に対する満足度は、『好ましい（好ましい、またはやや好ましい）』という意見が 33.6%で、過去の調査と比較して 14.2%増加しています。（問 8）
- ・佐鳴湖の今後の利用方法は、『湖畔の散歩』が最も多く、次いで『動植物の観察』と現在の利用と同様の傾向となっています。一方で水に直接触れる利用は減少傾向にあります。（問 9）
- ・佐鳴湖に求めている姿は、『自然の宝庫』『都会のオアシス』の順となっており、回答者は佐鳴湖に自然や安らぎを求めていることが伺えます。（問 10）

◆水質浄化の取り組みについて

- ・県や市の取り組みを知っていると回答した割合は、回答者全体の 82.5%と非常に高い割合でした。よく知られている取り組みは、『泥の除去』、『親水護岸・葦の植生整備』、『下水道の整備』で、特に『親水護岸・葦の植生整備』は認知度が増加傾向にあります。（問 11）
- ・県や市の取り組みの認知方法は、『新聞、TV、ラジオ、雑誌』や『行政からの便り』が多く、さらに『自分で佐鳴湖をみて』も比較的高い値となりました。（問 12）
- ・県や市の取り組みについての評価は、『取り組んでいる』という意見が 90.1%となり、非常に多くの方が評価しています。また、前回調査からは 10 ポイント以上増加しています。（問 13）
- ・県や市に今後期待する取り組みは、『浄化施設による水質改善』が最も多く、次いで『公園の整備』や『ゴミの撤去』となり、水質改善とともに周辺環境の整備も求められています。（問 14）